

「とちぎ創生 15 戦略」に係る課題解決に向けた
平成 29 年度の取組について

県では、栃木県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生 15 戦略」の着実な推進を図るため、P D C A サイクルを導入し、15 の戦略の取組ごとに設定した重要業績評価指標（K P I）の進捗状況や取組成果等を把握・検証し、翌年度の予算編成等に向けて取組の見直し・立案を行っています。

平成 29 年度に重点的に取り組むべき課題として抽出したものについて、課題の解決に向けて次のとおり取り組むこととしています。

○基本目標 1 とちぎに安定したしごとをつくる

No	戦 略	課 題	平成 29 年度の取組
1	【戦略 1】 ものづくり県の更なる発展と新産業の創出	県内企業への経営支援	<p><サービス産業に対する支援></p> <p>空き店舗を活用した創業希望者を支援するとともに、経営革新計画承認企業等が行う新商品・新サービスの開発等に対して助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗を活用した創業支援事業費 1,174 千円 ・ 経営革新計画策定によるサービス産業の生産性向上支援事業費 15,000 千円
2	【戦略 2】 成長産業へ進化する農業の確立	県産農産物のブランド力強化	<p><とちぎの農産物のブランド力の強化></p> <p>プレミアム化のあり方の検証や、スカイベリーの食味向上技術の確立、デスティネーションキャンペーンを活用した農産物の P R に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とちぎ農産物ブランド化推進事業費 8,088 千円 ・ スカイベリー食味等生産技術確立事業費 6,202 千円 ・ 栃木の農産物ブランド力強化プロモーション事業費 9,549 千円

No	戦 略	課 題	平成 29 年度の取組
3	【戦略 4】 国内外からの 観光誘客強化	デスティネー ションキャン ペーン（DC） の積極的な推 進	<p><観光立県とちぎづくりの加速化></p> <p>平成 30 年春の「本物の出会い 栃木」DCの開催準備をはじめ、「とちぎ版DMO」の形成に向けた支援や県民総ぐるみによるおもてなし運動を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デスティネーションキャンペーン推進事業費 87,199 千円 ・デスティネーションキャンペーン管理費 10,795 千円 ・とちぎの定番土産創出事業費 588 千円 ・県域版DMO形成促進事業費 12,590 千円 ・オールとちぎで“おもてなし”推進事業費 8,224 千円
			<p><国立公園満喫プロジェクトの推進></p> <p>日光国立公園での外国人受入態勢を整備するために、自然ガイド等の外国語対応力を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立公園自然ガイド等養成事業費 1,365 千円 <p>〔平成 28 年度補正予算により、奥日光地域の情報発信拠点の機能強化や多言語化に取り組んでいる。〕</p>
4	【戦略 5】 多様な人材が 働きやすい就 労環境づくり	県内企業の人材 の確保・育成	<p><県内企業の人材の確保・育成への支援></p> <p>中小・小規模企業が学生等に就職先として選ばれるための魅力発信力の強化を図るとともに、産業技術専門校指導員の資質向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力発信スキルアップセミナー開催事業費 2,285 千円 ・高い技術力・指導力をつけるための指導員研修事業費 1,209 千円

○基本目標2 とちぎへの新しいひとの流れをつくる

No	戦 略	課 題	平成 29 年度 の 取 組
5	【戦略8】 とちぎへのひとの還流の推進	Uターン対策の強化と企業との連携	<p><オールとちぎによるU I Jターンの促進></p> <p>東京圏在住の本県出身者のUターン意識を醸成するため、若者向けミーティングを開催するとともに、官民が連携して、U I Jターンの取組を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Uターン対策強化事業費 2,900 千円 ・ U I Jターン応援団登録制度推進費 710 千円

注：次年度に重点的に取り組むべき課題に関する部分を抜き出しているため、事業名や予算額が予算関係資料と一致しないことがあります。